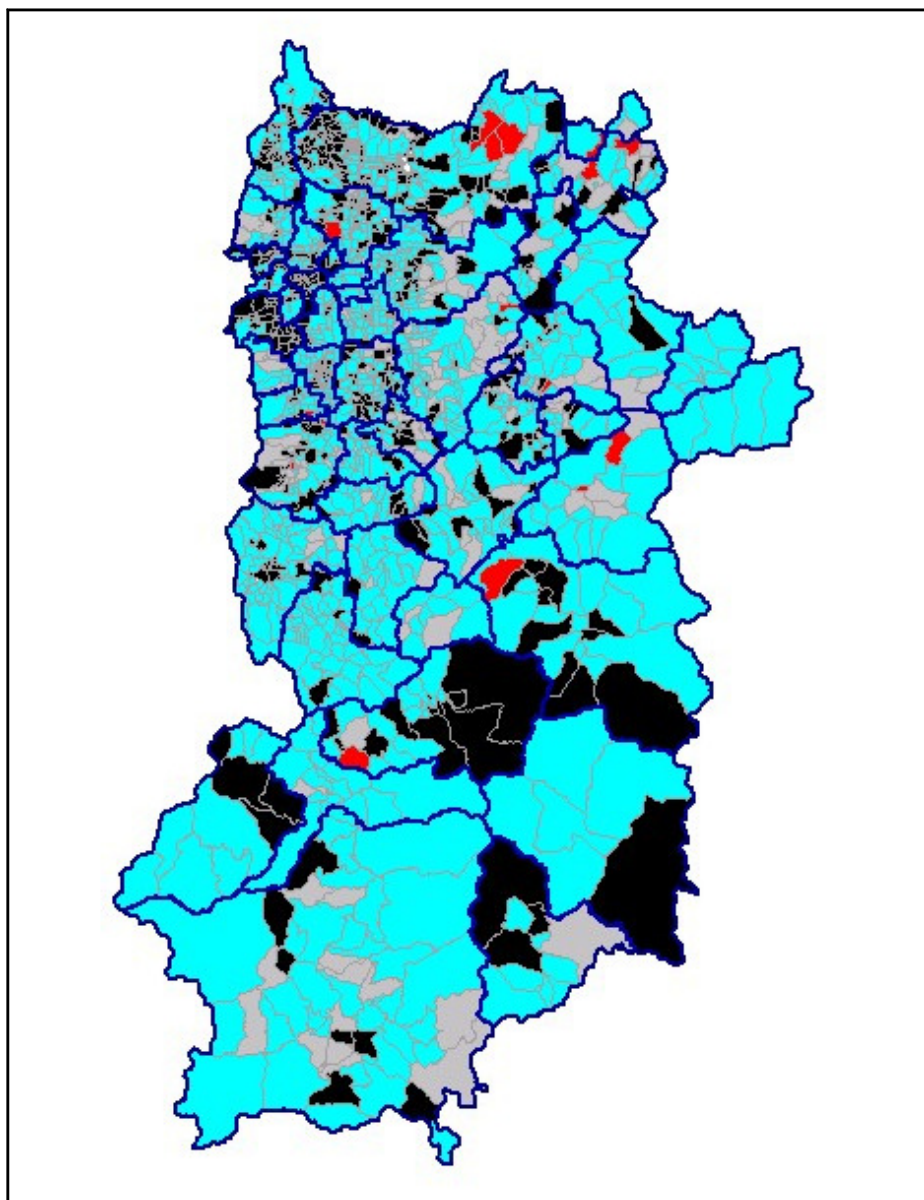


農・林業集落アンケートによるヌートリアの生息・農業被害動向について

本レポートは、アライグマの生息・農業被害動向と同様に、平成22年度緊急雇用事業で実施した野生鳥獣の農・林業集落アンケート調査結果と平成20・21年度に森林保全課(森林整備課)が自然環境研究センターに委託して実施した野生鳥獣の農・林業集落アンケート調査の結果に基づくものです。アンケート調査であること、現地調査を実施していないことから、あくまで奈良県の傾向を把握するものとなっています。

なお、調査年度については平成20年度には前年度つまり平成19年度の内容を、平成21年度には平成20年度の、平成22年度には平成21年度の内容を問うています。

図 平成19年度のヌートリアの分布



右図は、平成19年度の農林業集落アンケート調査による、ヌートリアの分布である。

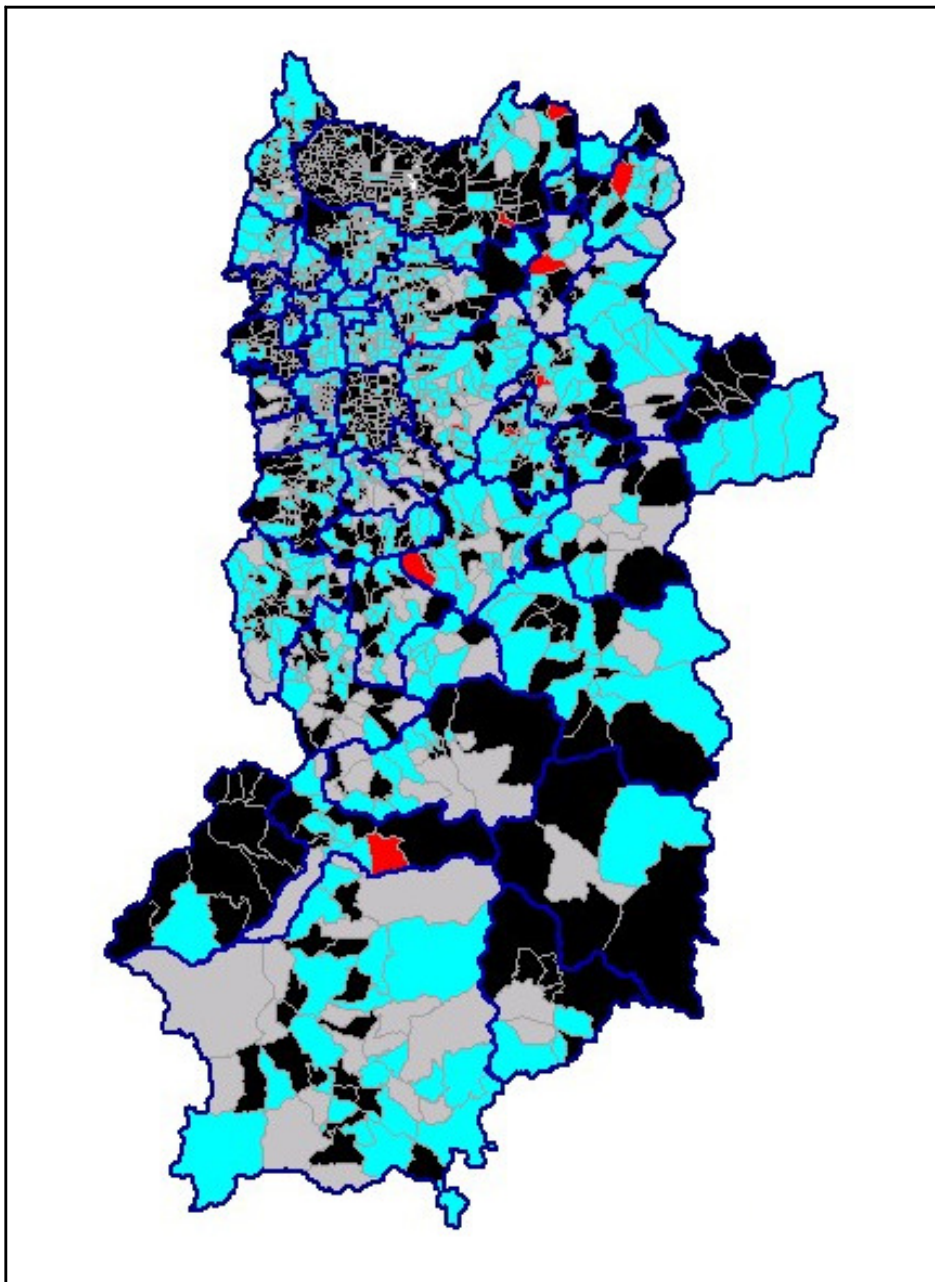
農業集落でヌートリアが「いる」と回答があった場合に「いる」としている。回収無しには既に人が住んでいない集落も含まれている。

ヌートリアの生息域は、非常に限定されていることがわかる。ただし、県北部から県中南部にかけて情報があり、既に複数の流域で生息していると考えられる。

■	いる	18集落
■	いない	863集落
■	無回答	170集落
■	回収無	757集落
		全 1808集落

凡例 図中 青線 市町村界 市町村界内側の線 大字・地区界
 なお、この市町村界、大字・地区界の凡例は次項以降の図も同様である

図 平成20年度のヌートリアの分布



右図は、平成20年度の農林業集落アンケート調査による、ヌートリアの分布である。

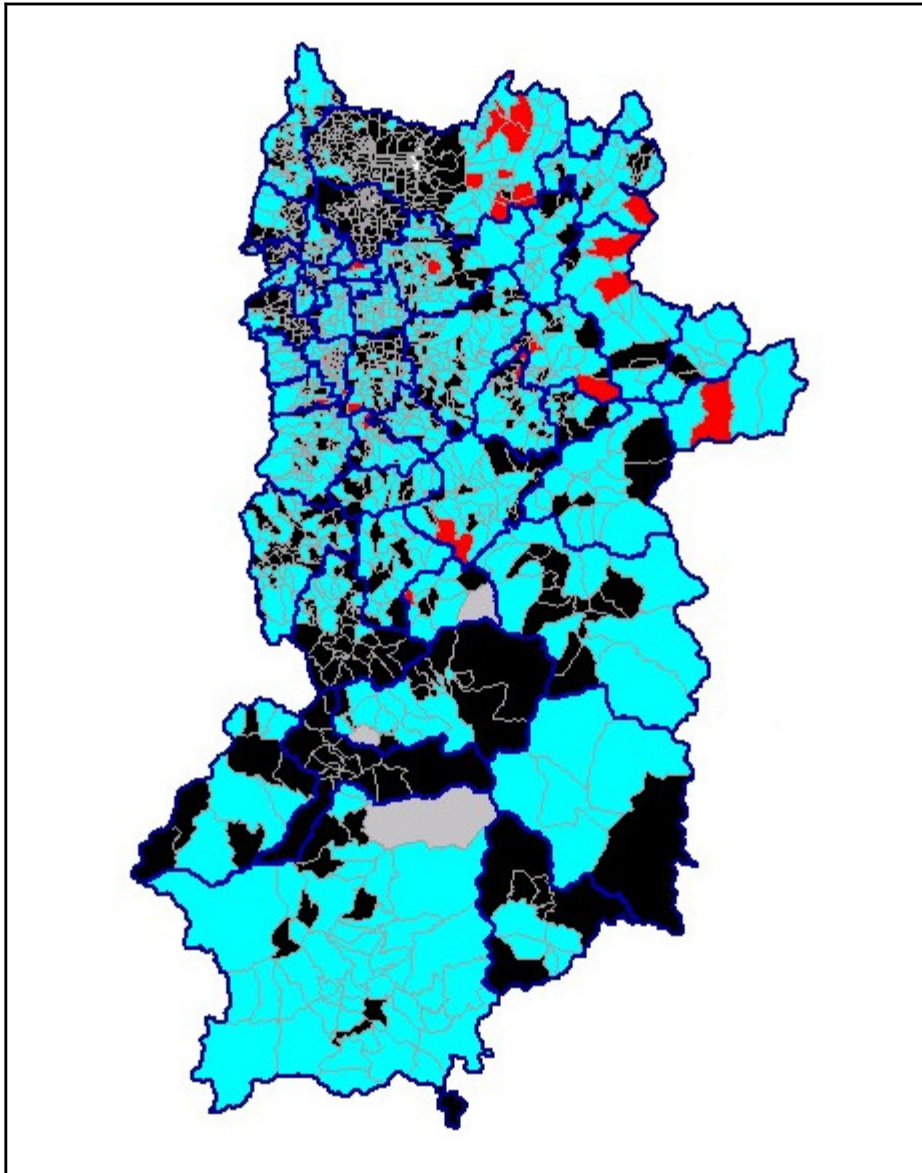
農業集落でヌートリアが「いる」と回答があった場合に「いる」としている。回収無しには既に人が住んでいない集落も含まれている。

ヌートリアの生息域は、前年度と同様の傾向である。

■ いる	10集落
■ いない	565集落
■ 無回答	182集落
■ 回収無	1051集落
全	1808集落

凡例 図中 青線 市町村界 市町村界内側の線 大字・地区界
 なお、この市町村界、大字・地区界の凡例は次項以降の図も同様である

図 平成21年度のヌートリアの分布



右図は、平成21年度の農
林業集落アンケート調査に
よる、ヌートリアの分布で
ある。

農業集落でヌートリアが
「いる」と回答があった場
合に「いる」としている。回
収無しには既に人が住んで
いない集落も含まれている。

ヌートリアの生息域は、前
年度までと比べ、県東部に
おいて広がる傾向にある。
また、県中西部においても
分布が見られるようになった。

県北部から県中南部にか
けて情報があり、既に複数
の流域で生息している可能
性がある(生息していると思
えられる)。

■	いる	31集落
■	いない	753集落
■	無回答	3集落
■	回収無	1021集落
		全 1808集落

凡例 図中 青線 市町村界 市町村界内側の線 大字・地区界
なお、この市町村界、大字・地区界の凡例は次項以降の図も同様である

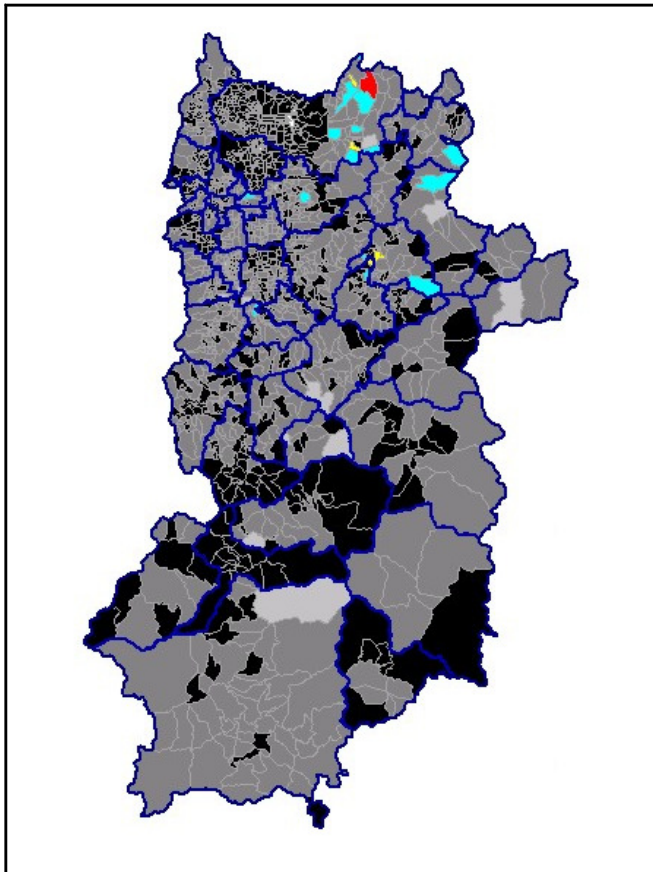


図 平成21年度の農地への出没

右図は平成21年度の農業集落アンケートによる、ヌートリアの農地周辺への出没状況である。

よく見ると回答があったのは、県北部の1集落のみである。現時点では県全域の生息数はそれほど多くはないと考えられる。

よく見る	1集落
たまに見る	4集落
あまり見ない	15集落
回答無	14集落
分布無	753集落
回収無	1021集落
全 1808集落	

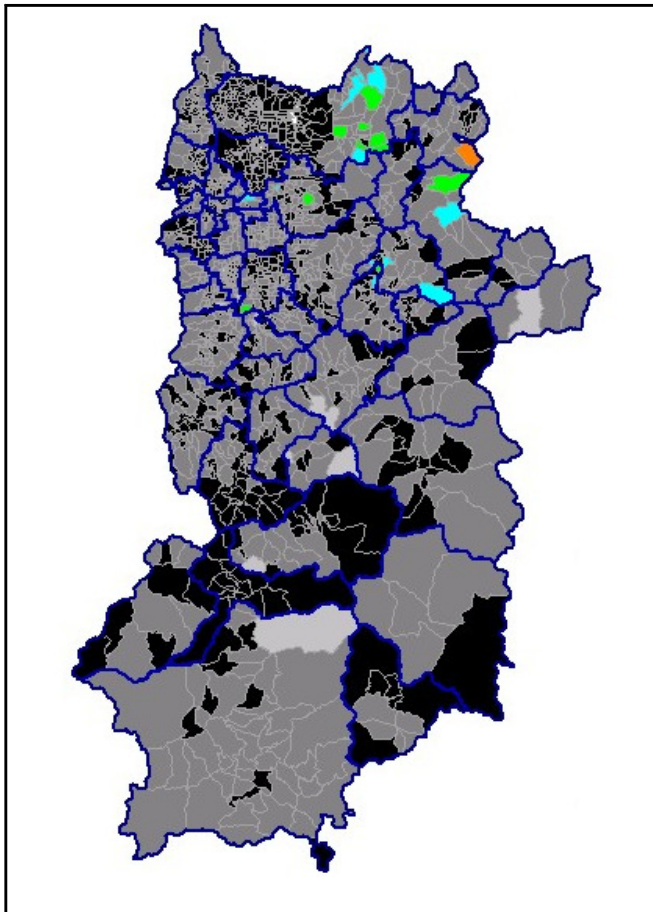


図 平成21年度の被害程度

右図は平成21年度の農業集落アンケートによる、ヌートリアによる農業被害の大きさの意識調査の結果である。ヌートリアが分布しており、かつ回答のあった24集落の内訳は下記の通りである。

ヌートリアの農業被害は、ほとんど無いか軽微なものが多い。しかし、大きな被害を受けているというものも1集落存在する。

ほとんど無い	13集落
軽微	10集落
大きい(生産量の30%未満)	1集落
深刻(生産量の30%以上)	0集落
計 24集落	

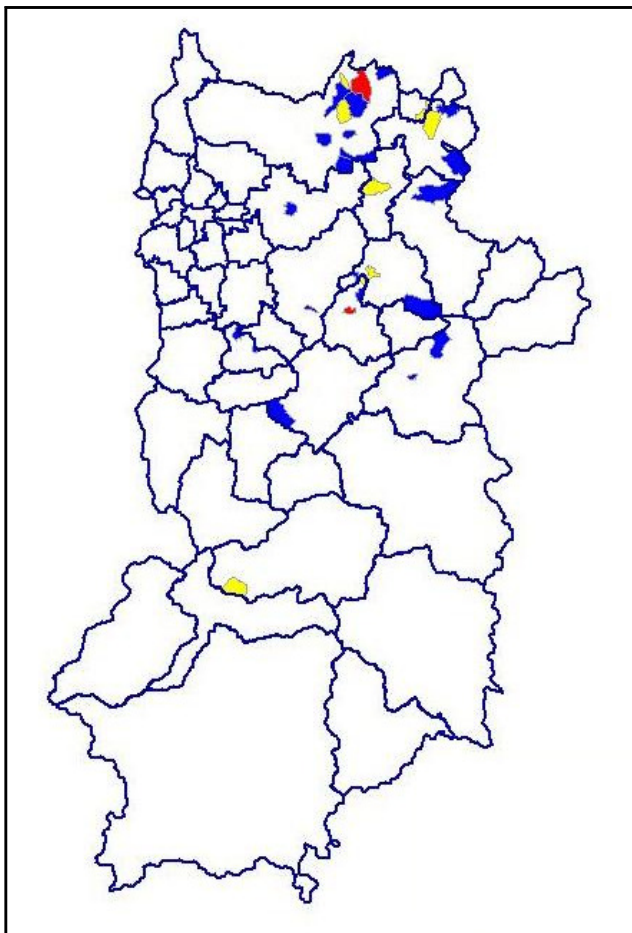


図 農・林業アンケートによる農地周辺への出没の増減

右図はオーストリアの農地・集落周辺への出没の3年間の動向である。

毎年集落毎に農地・集落周辺へのオーストリアの出没を1. よく見る、2. たまに見る、3. あまり見ないの区分で回答を得ているが、1. よく見る、2. たまに見る、3. あまり見ないの回答を、「よく見る」を+1、「たまに見る」を±0、「あまり見ない」を-1とポイント化し、それを集落毎に合計し、プラスになる場合(つまりよく見るが多い場合)は赤色で、0になる場合(つまりたまに見るになる場合)は黄色で、マイナスになる場合(つまりあまり見ないが多い場合)は青色で各集落を色つけた。3年間で1度でも回答があった場合を集計している。なお、空白は調査した3年間、オーストリアがいない、無回答、集落に人が住んでいないのいずれかである。

オーストリアの農地への出没は、それほど増えていないようである。しかし、県北部の一部地域では増加傾向にあり、生息密度は高まっている可能性がある。

よく見る	2集落
たまに見る	8集落
あまり見ない	22集落
回答数	30集落

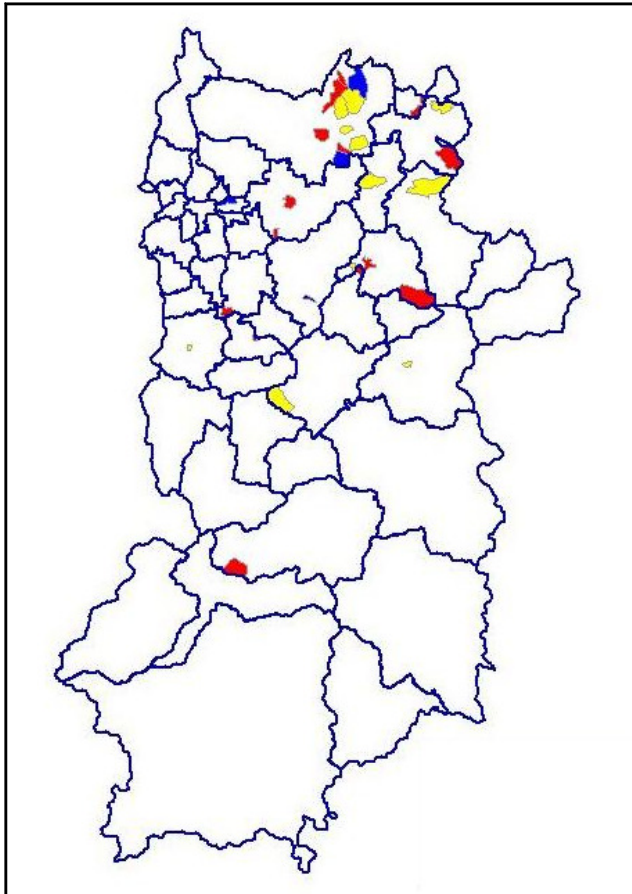


図 農・林業アンケートによる農業被害の増減

右図はオーストリアによる農業被害の意識の3年間の動向である。

毎年集落毎に農業被害を前年度より1. 増えた、2. 変わらない、3. 減ったの区分で回答を得ているが、「増えた」を+1、「変わらない」を±0、「減った」を-1とポイント化し、それを集落毎に合計し、プラスになる場合(つまり増えている場合)は赤色で、0になる場合(つまり変わらない場合)は黄色で、マイナスになる場合(つまり減った場合)は青色で各集落を色つけた。3年間で1度でも回答があった場合を集計している。空白は調査した3年間、オーストリアがいない、回答がない、集落に人が住んでいないのいずれかである。

オーストリアによる農業被害の意識は、ごく一部では減っているものの、回答を得た集落のうち半数近くが増えたとなっている。オーストリアが生息している地域では被害意識は増加傾向にあると考えられる。

増えた	14集落
かわらない	12集落
減った	4集落
回答数	30集落

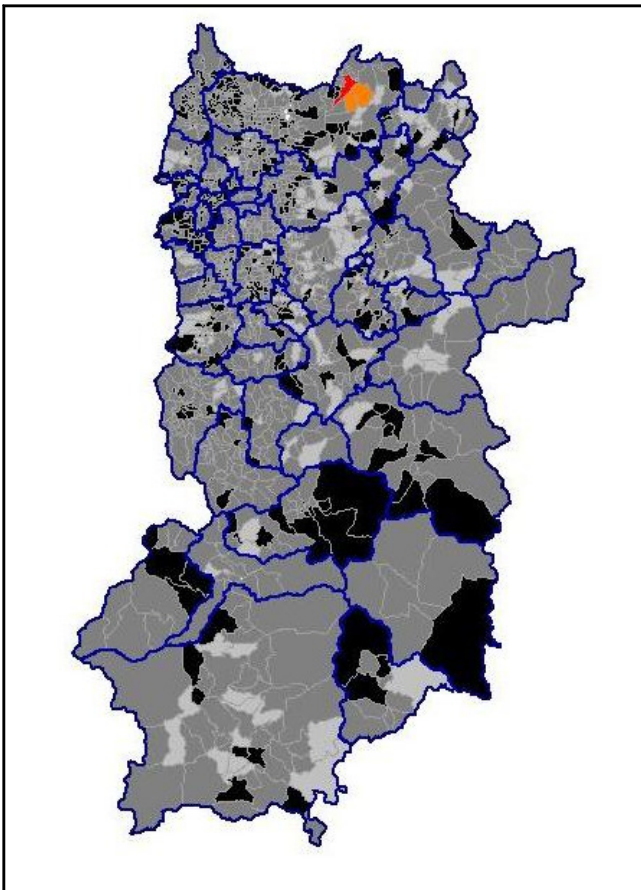


図 ノートリアの出現時期(平成19年度アンケート)

右図は平成19度の農業集落アンケートによる、ヌートリアが農地・集落周辺に出現するようになった時期の意識調査の結果である。

ヌートリアの出現時期は、昭和期にも出現したと1集落から回答があった。しかし、他は平成15年～19年以降となっている。なお、平成19年度のアンケート調査に平成20年の回答があるのは、アンケートは平成20年度に実施し前年までの状況を問うているが、回答者が当年の記載をしたためである。

平成20年以降	2集落
～平成19年	2集落
～平成14年	0集落
～平成9年	0集落
～平成4年	0集落
平成年間	0集落
～昭和62年	1集落
昭和年間	0集落

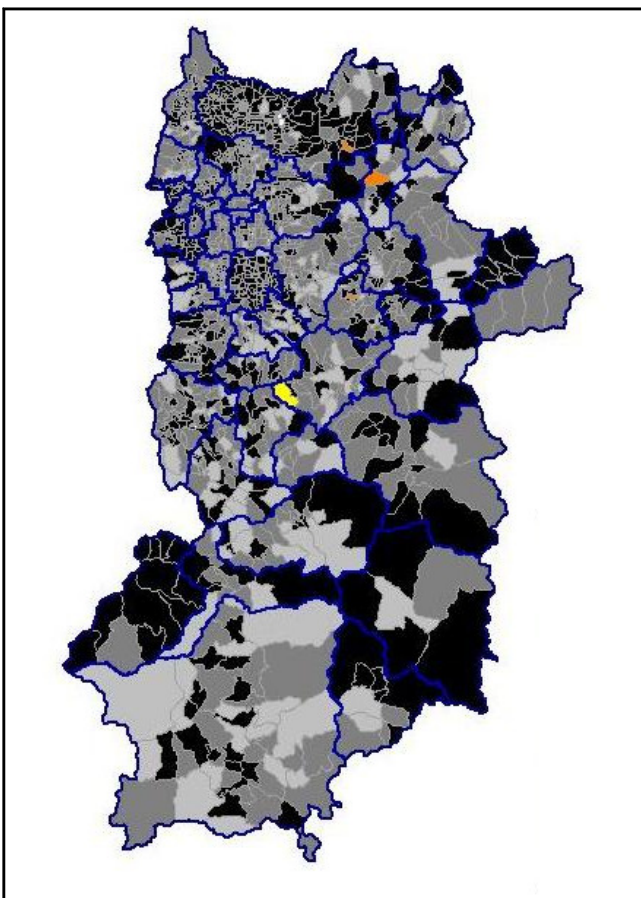


図 ノートリアの出現時期(平成20年度アンケート)

右図は平成20度の農業集落アンケートによる、ヌートリアが農地・集落周辺に出現するようになった時期の意識調査の結果である。

ヌートリアの出現時期は、全て平成10年～平成14年以降となっていた。

平成20年以降	0集落
～平成19年	3集落
～平成14年	1集落
～平成9年	0集落
～平成4年	0集落
平成年間	0集落
～昭和62年	0集落
昭和年間	0集落

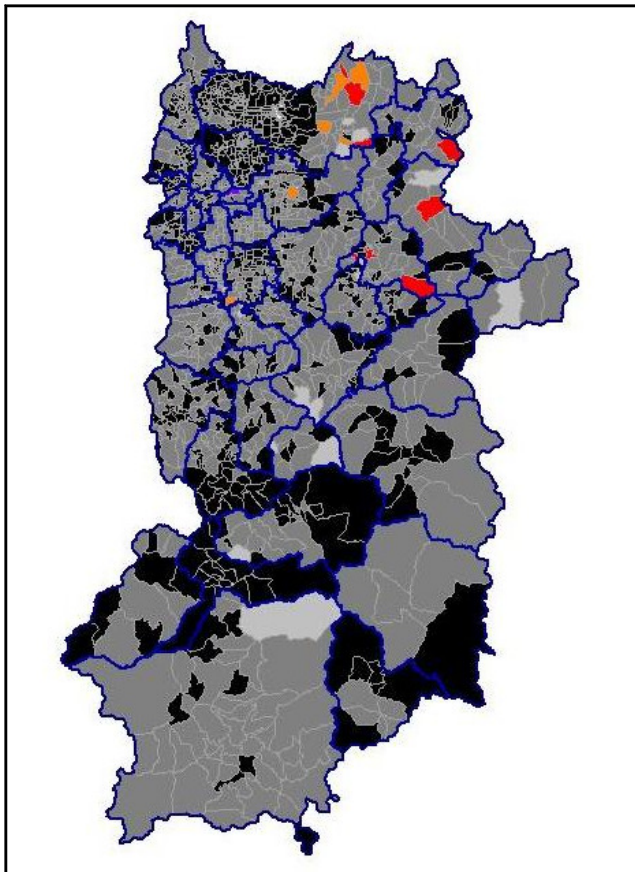


図 ヌートリアの出現時期(平成21年度アンケート)

右図は平成21度の農業集落アンケートによる、ヌートリアが農地・集落周辺に出現するようになった時期の意識調査の結果である。

ヌートリアの出現時期は、昭和27年というものが1集落からあった。しかし、その他は平成15年～19年期以降であり、平成20年以降が多い。平成20年以降の件数については、アンケート調査は平成22年に前年までの状況を問うているが、回答者が当年の記載をしたため実際よりも多くなっている。

なお、奈良県林業統計によると、昭和58年度に狩猟による捕獲が1頭ある。また、本年度アンケート調査の回答の備考に養殖していたことがあるとの記載がある。ヌートリアは戦前に、毛皮を目当てに輸入されて養殖されていた経緯がある。奈良県においても過去に、養殖場から逃げ出した個体が存在し、それが繁殖し捕獲された可能性はある。

近年ヌートリアが局地的ではあるが増加する傾向にあることについてはその原因は不明である。農業の影響が少なくなった、用水路を利用して移動しやすくなったなど、生息環境に何らかの変化が生じたのかも知れない。また隣接する他府県からの侵入もあるかもしれない。この場合においても隣接する府県も同様に原因は不明である。

平成20年以降	9集落
～平成19年	5集落
～平成14年	0集落
～平成9年	0集落
～平成4年	0集落
平成年間	0集落
～昭和62年	0集落
昭和年間	1集落

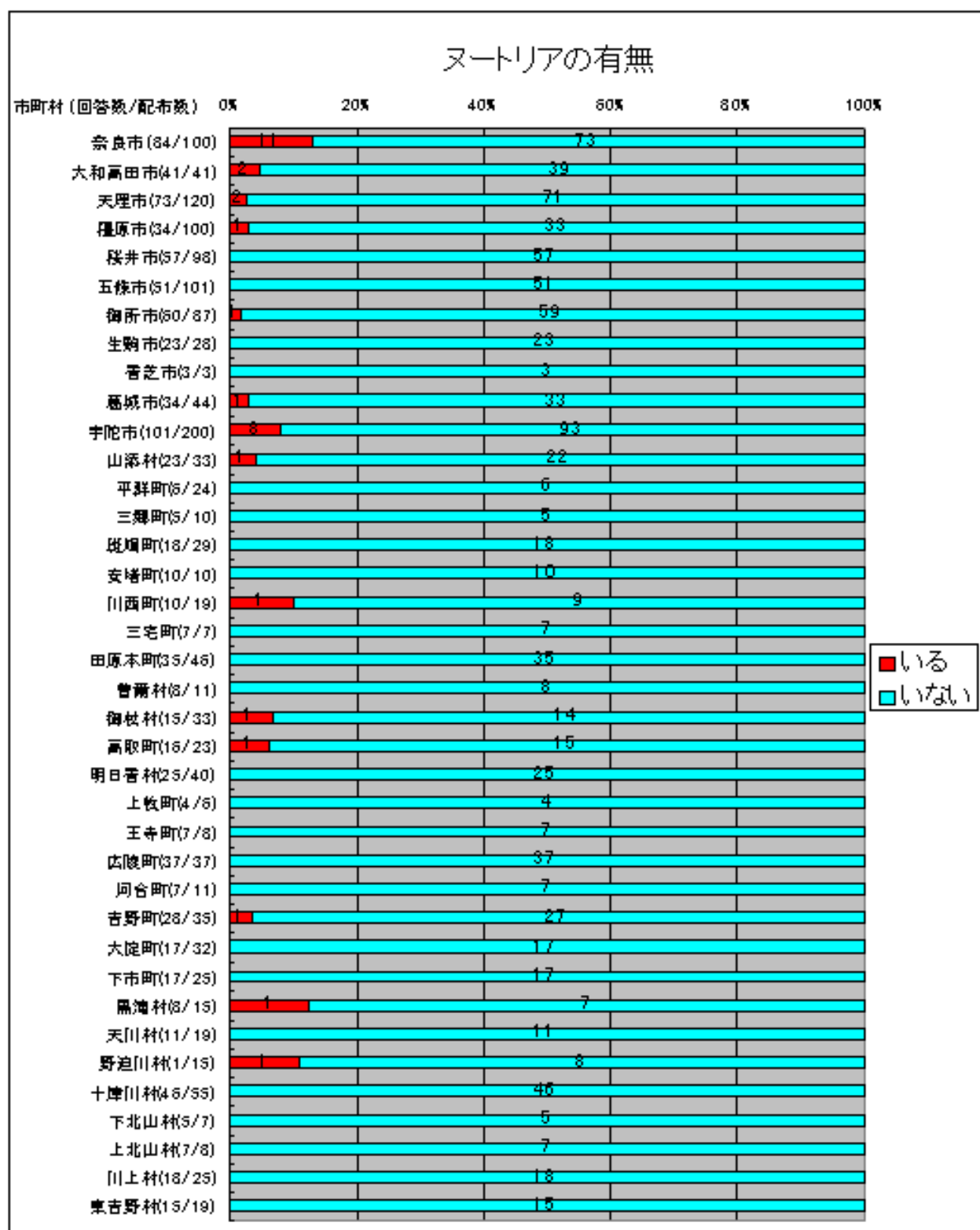
参考資料・1) 平成21年度の農林集落アンケート調査のアヌートリア被害等について抜粋

アンケート調査の備考に記載されていた内容の抜粋になります。単に農業被害がある、農業被害が増加しているといった内容以外の事項のみ抜粋しています。

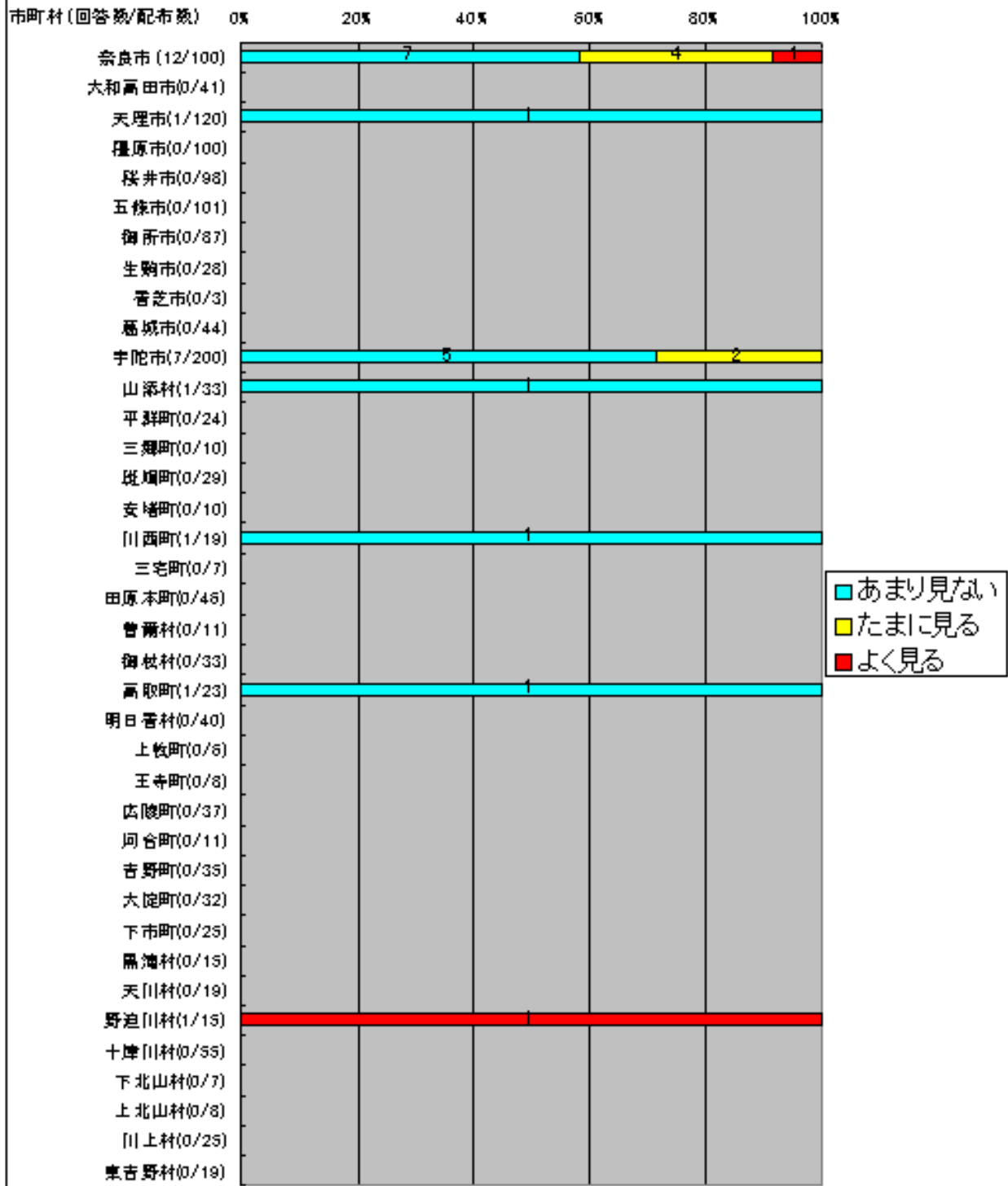
奈良市

- ・ため池に住み着く
- ・近くで養殖されていた

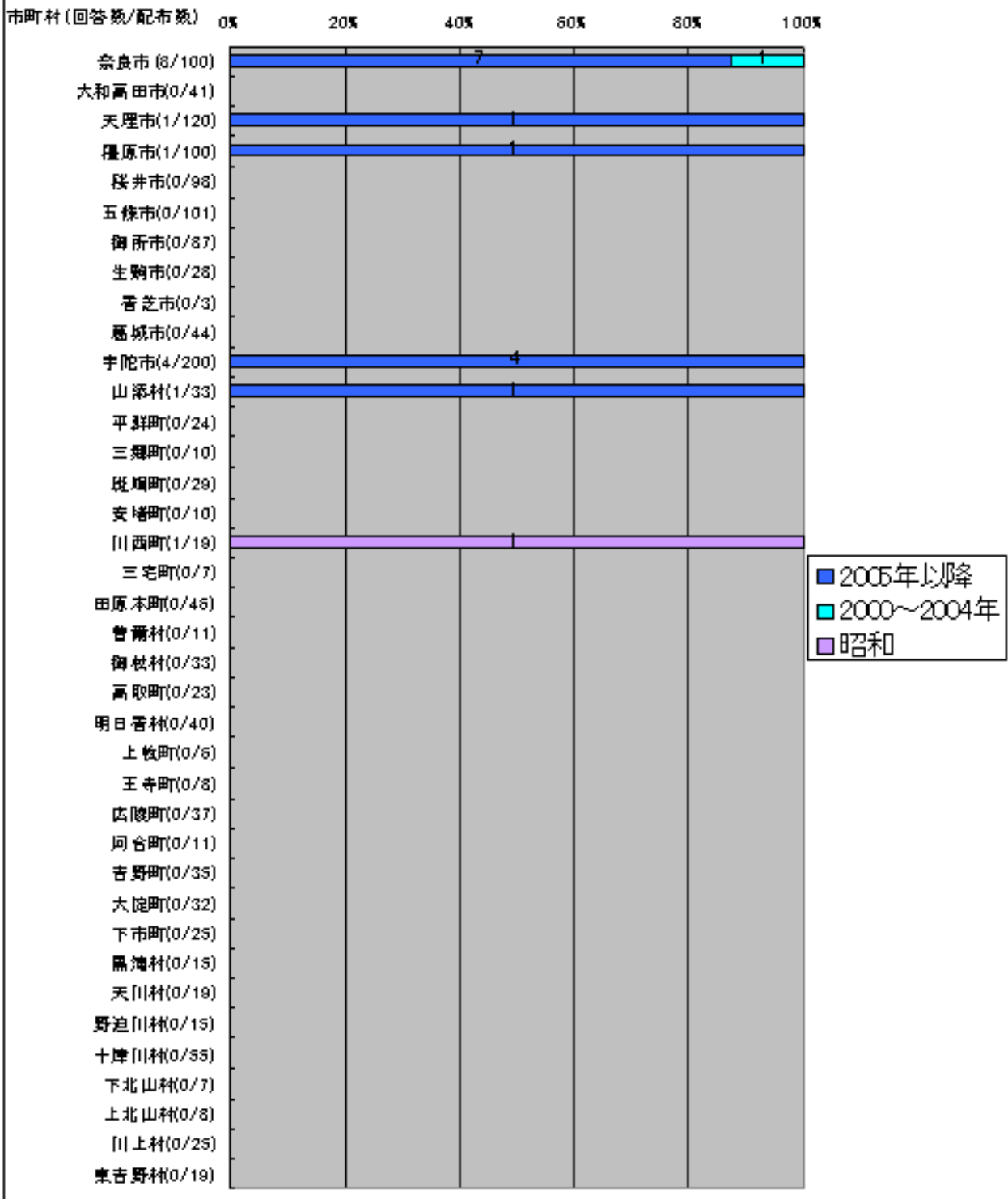
参考資料・2) 平成21年度の農林集落アンケート調査の市町村別の回答状況



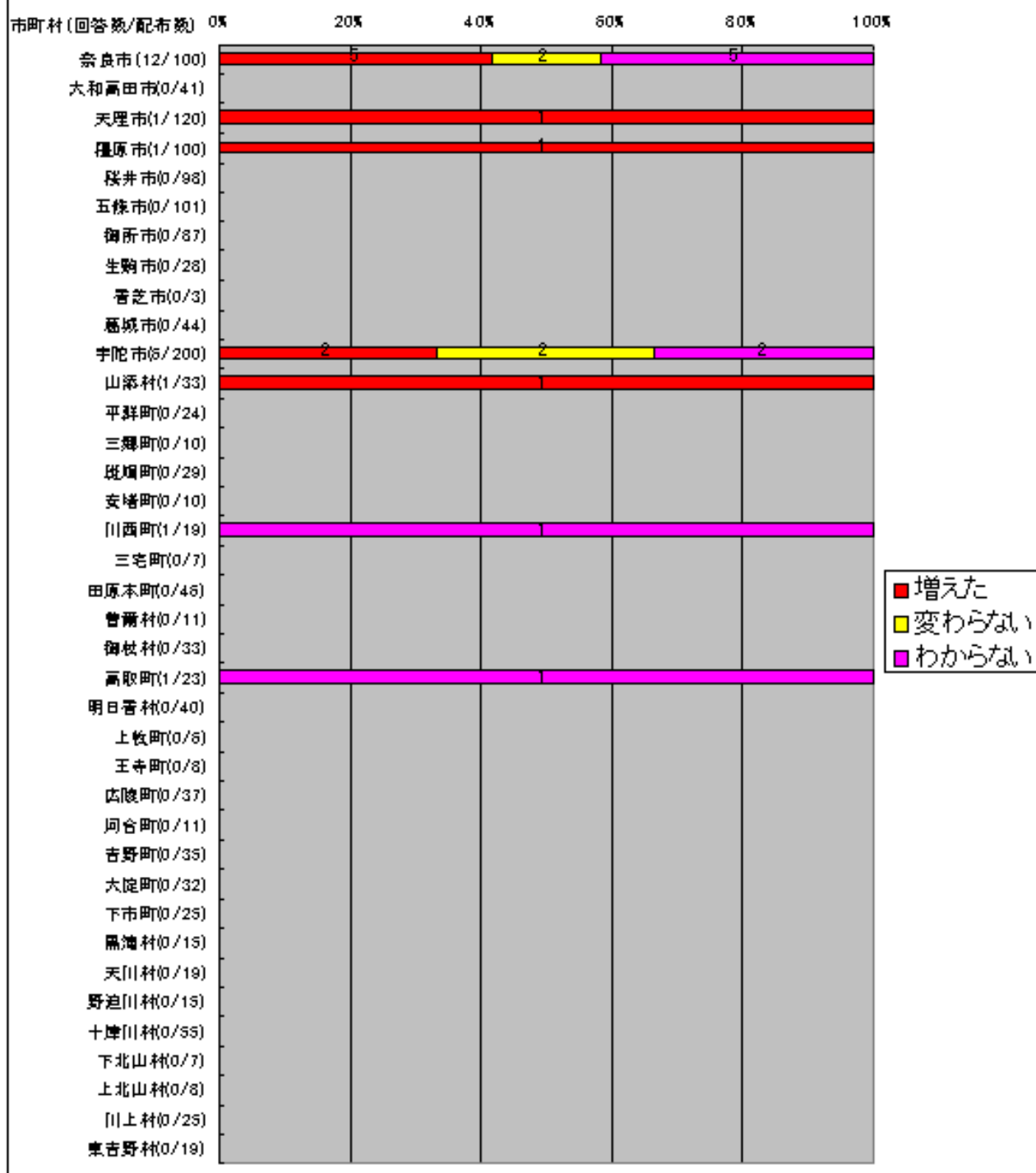
ヌートリア出没状況



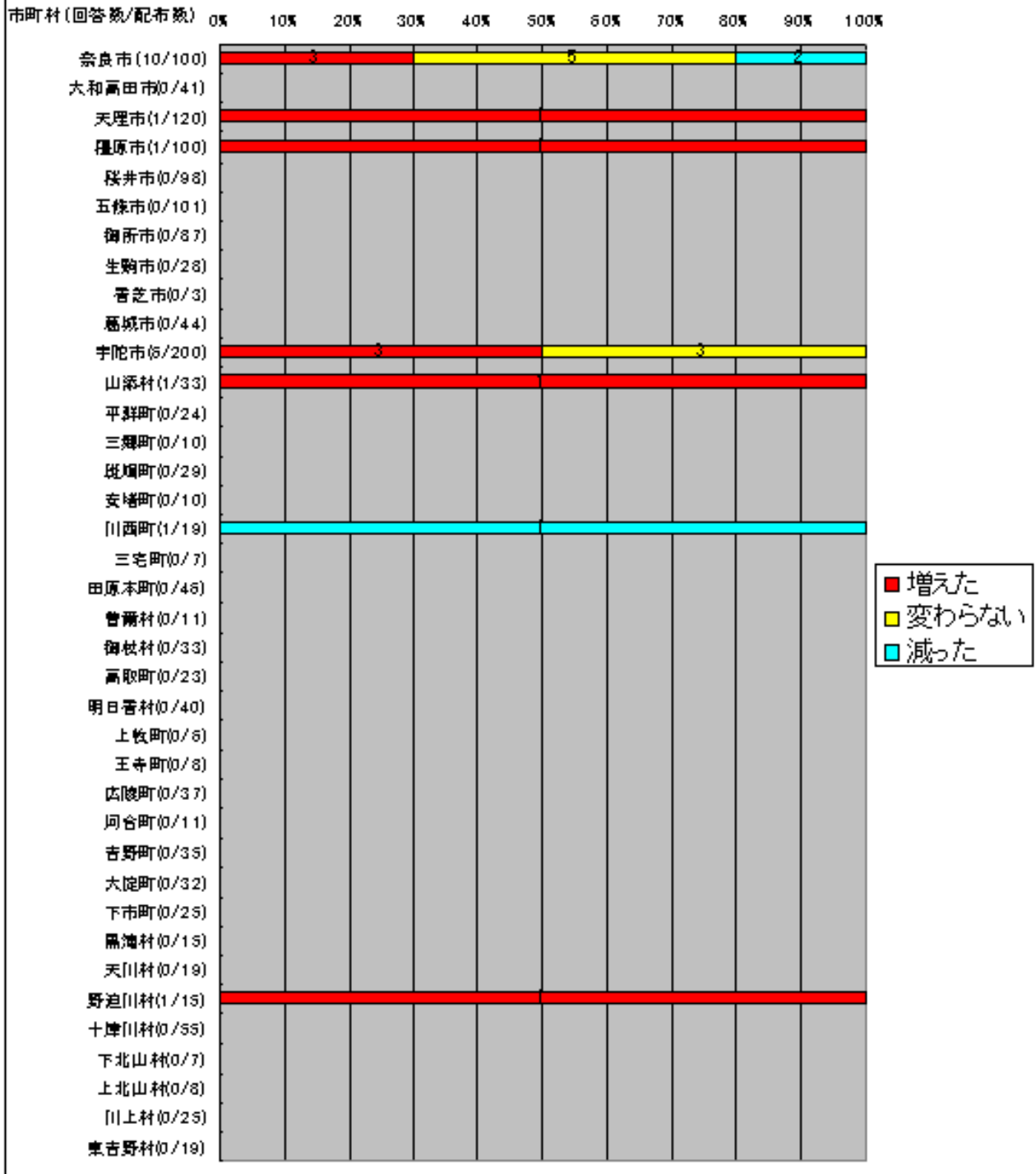
ヌートリア出没年度



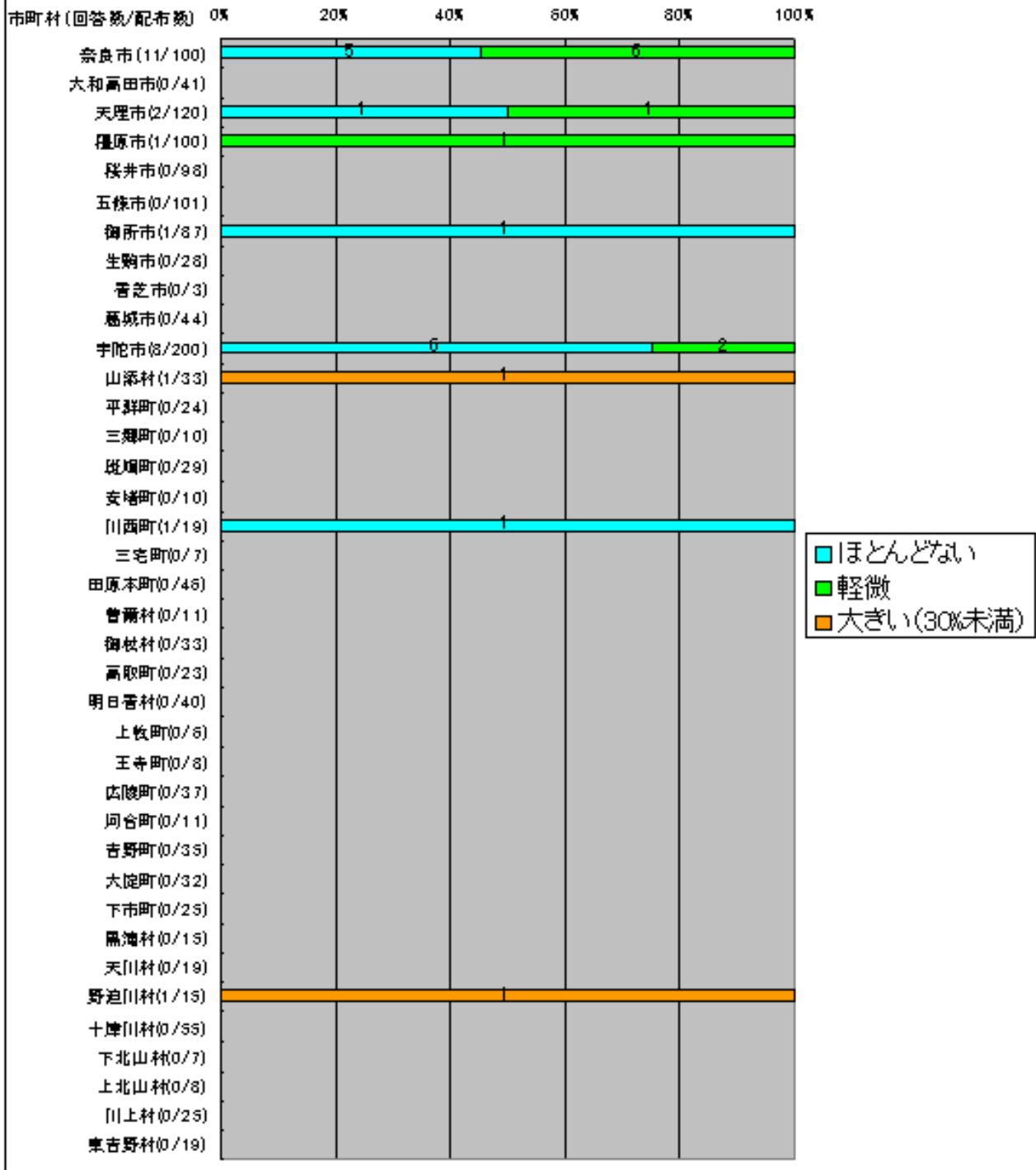
ヌートリアの増減



ヌートリア被害増減



ヌートリア被害程度



ヌートリア有害捕獲の効果

